

令和6年度 事業報告

門川町においては、人口減少と少子高齢化が進行している中、高齢者・障がい児者など社会的に孤立しやすい人々への見守り等が地域福祉の要となります。

また、近年の自然災害や物価高騰など、人々の暮らしに大きな影響を及ぼす社会情勢において、地域社会の様々な福祉に関する課題が増大しており、公的な対応だけでは困難な状況となってきました。

住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしていくために、平成7年に高齢社会対策基本法が制定され、介護保険法、認知症基本法等の多様な高齢者に対する関連法が整備されました。このような法律制定から30年が経過し、今後、国の施策に期待するだけでなく、高齢者自らが努力するとともに、地域福祉に対し地域住民の皆さまのご協力をいただきながら行政、社協と連携した地域共生社会を構築していくことが大きな課題であります。

このような中、当会では地区の現状に即した福祉推進委員活動を行えるよう規則の改正を行いました。

なお、一連の社協事業の実施に関しましては門川町と社会福祉協議会が策定した門川町地域福祉総合計画に基づいて事業を実施しました。

ご協力をいただきました町民をはじめ行政や自治会、施設、団体等の皆様に心から感謝申し上げます。

以下、令和6年度の実施事業について報告いたします。

1. 活動推進状況 () 内は昨年度実績

1) 地域福祉事業の推進

(1) 門川町地域福祉総合計画に基づく事業の推進

第2次地域福祉総合計画（第3次門川町地域福祉計画・第5次門川町地域福祉活動計画）に基づき事業を推進しました。

- ・地区活動状況等把握のためのヒアリングの実施（地区福祉推進委員座談会）

実施日	令和6年6月30日（日）～9月26日（木）
場所	各地区公民館（39ヶ所）
対象者	地区福祉推進委員
内容	各地区活動状況の把握、地域アセスメント情報提供シートの作成

(2) 重層的支援体制整備事業の推進

- ・研修への参加及び関係機関との連携

実施日	1回目	令和6年10月11日（金）
	2回目	令和6年11月29日（金）
場所	宮崎観光ホテル（宮崎市）	
内容	1回目	地域共生社会推進研修（包括的支援体制推進編）
	2回目	地域共生社会推進研修（プラン編） 1名参加

・関係機関との連携

実施日	令和6年 5月30日(木)、7月25日(木)、9月13日(金) 11月25日(月)、 令和7年 1月17日(金)、3月19日(水)
場所	門川町総合福祉センター
参加者	NPO 法人つながり、福祉課、社協
内容	個別ケースの情報共有、協議

実施日	令和6年11月5日(火)
場所	門川町役場
参加者	宮崎県、NPO 法人つながり、福祉課、社協
内容	個別ケース検討

(3) 地域での見守り交流活動支援

①地区福祉推進委員会活動の推進

令和5年度から地区福祉推進委員長は地区会長または地区会長が推薦する者に変更しています。

地区福祉推進委員長 41人(地区会長兼務33名)

地区福祉推進委員 400人(推進委員長含む)

(推進委員の任期は1期3年で、令和6年度は一部改選〔改選率29.8%〕)

地区福祉推進委員会活動見直しに向けて座談会を開催し、各福祉推進委員会活動の現状や課題の把握を行い、地区福祉推進委員規則の変更を行いました。また、地区福祉推進委員会活動に関するアンケートを実施し課題の把握に努めました。

- ・地区福祉推進委員規則の変更
(任期を3年間から2年間に縮小、身分証の発行など)
- ・アンケートの実施
(地区会長アンケート、地区福祉推進委員アンケート)

ア 地区福祉推進委員研修の実施

○地区福祉推進委員座談会の実施【再掲】

内容	各地区活動状況の把握、地域アセスメント情報提供シートの作成 地区福祉推進委員アンケート実施について、認知症どこ知る伝言板 ICTの取り組みについて他
----	--

○地区福祉推進委員会への職員派遣

実施日	令和6年5月9日(木)
場所	東栄町公民館
参加者	東栄町地区福祉推進委員 14名参加
内容	東栄町地区福祉推進委員会 地区福祉推進委員の活動について

実施日	令和6年9月15日（日）
場所	庵川西公民館
内容	庵川西区の敬老会においてICTを活用した福祉活動の紹介

イ 地区福祉推進委員長会の開催

○新任地区福祉推進委員長会の開催

実施日	令和6年6月24日（月）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	9名
内容	社会福祉協議会事業、地区福祉推進委員会活動マニュアル等

○地区福祉推進委員長会の開催（年2回）

実施日	1回目：令和6年6月24日（月） 2回目：令和6年9月30日（月）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	1回目：41人、2回目：36人
内容	1回目：社会福祉協議会事業、地区福祉推進委員会活動 地域包括支援センター事業等 2回目：座談会報告、推進委員会活動アンケート、年末年始事業 福祉ふれあい祭り、赤い羽根共同募金活動等

ウ 小地域見守り活動の充実

- ・安心カード登録者台帳更新
（ひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、その他気になる世帯等）
※変更があった場合は随時更新

エ 活動費の助成

- ・地区福祉推進委員会活動費助成
40地区 792,000円（37地区 752,000円）
1地区あたり 福祉推進委員数 × 2,000円
- ・地区自主活動支援 年3回以上の活動に対し年間30,000円助成
39地区 1,170,000円（34地区 1,012,000円）

防災講演会、ウォーキング大会、グラウンドゴルフ、シニアカフェ、カラオケ大会 世代間交流、季節の行事（花見・七夕祭り・ひな祭り・夏祭り・クリスマス会）

・認知症に関する取り組み【新規】

14地区 280,000円 参加者：154名

認知症サポーター養成講座（9地区）、オレンジカフェ（2地区） 認知症に関する出前講座（1地区）、認知症に関する基礎研修（1地区） 料理教室（1地区）
--

・年末年始事業助成

33地区 327,998円（27地区 270,000円）

高齢者宅への訪問（ケーキ・お菓子・お弁当配布、物品）、世代間交流、 新年会、柳もちづくり等
--

オ 門川町社会福祉功労者等表彰式

実施日	令和7年3月28日（金）午前10時00分から
場所	門川町役場3階会議室
テーマ	やすらぎと生きがいのあるみんなで創る共生社会のまちづくり
参加者	町長表彰 4人 社会福祉協議会会長表彰・感謝 10人 赤い羽根共同募金会長表彰 5人 関係者 合計36人
内容	門川町社会福祉功労者の表彰 （町長表彰、社協会長表彰・感謝、共同募金会長表彰・感謝）

カ 福祉バス運行事業【町補助事業】

福祉バス運行を実施し、高齢者の生きがいづくり及び地区福祉推進活動支援を行いました。

運行種別		回数（回）	利用者（人）
福祉バス 運行	県内	12（13）	233（201）
	県外	10（11）	226（264）
合計		22（24）	459（465）

キ 広報啓発活動

福祉推進委員活動の紹介

社協だより 令和6年7月号、8月号、令和7年2月号

②生活支援体制整備事業の受託【町受託事業】

ア 生活支援コーディネーターの配置（3名）

イ サービス開発に関する会議の企画・運営

○地域包括支援センターとの合同会議

実施日	令和6年 6月11日（火）、7月10日（水）、9月11日（水） 10月16日（水）、12月24日（火） 令和7年 2月27日（木）、3月21日（金）
場所	門川町総合福祉センター
内容	座談会の実施について、福祉用具の貸出し事業について 地区福祉推進委員活動見直しについて、介護予防活動について オレンジカフェについて、介護予防交流大会について ひとり歩き模擬訓練について

ウ 地区サロン等における買い物支援活動の推進（店舗等との連携）
小松地区サロン活動における買い物支援活動の実施状況確認

エ 生活支援ボランティア養成研修会（家事援助、通院介助）の開催

実施日	令和6年12月20日（金）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	住民参加型在宅福祉サービス たんぽぽ会員 4人
内容	介護人材不足の中での住民主体の生活支援活動について

オ 地域包括ケア会議への出席

実施日	令和6年9月18日（水）、令和7年1月22日（水） 令和7年3月19日（水）
場所	門川町役場2階会議室
内容	利用者状況、ケアプランの報告、各専門職による気づきや助言等

カ ICT・AIを活用した福祉団体との連携による活動の研究と推進【新規】

○福祉団体と連携したスマートフォン教室の開催

実施日	令和7年1月30日（木）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	門川町高齢者クラブ連合会会員 32人
内容	ICTに関する基礎知識、Wi-Fiについて、LINEの使い方他

実施日	令和6年8月22日（木）、令和6年10月17日（木） 令和7年2月28日（金）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	門川町民生委員児童委員協議会会員 44人
内容	ICTに関する基礎知識、Wi-Fiについて、LINEの使い方他

キ 外部研修会の参加

実施日	令和6年9月10日（火）、令和6年12月10日（火）
場所	宮崎県防災庁舎研修室
参加者	本会職員3名
内容	生活支援コーディネーター交流研修会（生活支援コーディネーターの役割、地域の課題解決の取り組み他）

③ ICTを使った地域福祉活動の推進【再掲】

ア ICTを進めるための環境の整備（テレビ会議Zoomの活用）

イ ICTを活用した事業の推進（ICTを活用した福祉活動の情報収集）

ウ 新たな福祉活動の情報提供の実施

④福祉情報の提供とイベントの実施

住民への広報活動やイベントを通し、福祉意識の高揚を図りました。

ア 第29回福祉ふれあい祭り2024の開催

実施日	令和6年10月6日(日)
場所	門川町総合福祉センター
テーマ	「見つけよう 誰でもできる 助け合い」 門川中学校 3年 酒井 颯冴 さん
参加者	町民、福祉団体、福祉施設および関係者 1,311人
内容	ふれあいステージ、ふれあい笑店街、福祉体験コーナー 赤い羽根共同募金コーナー、キッズコーナーなど

イ 門川町社会福祉功労者等表彰式の開催【再掲】

ウ 情報提供の充実

- ・社協だよりの発行(第352号～第363号)
- ・町内掲示板、班回覧の活用
- ・ホームページによる情報提供

(4) 総合相談・無料弁護士相談実績

常設相談・無料弁護士相談を実施し、町民が抱えている心配ごとや専門的な事案に対し総合的に対処し、問題解決への相談に応じました。

①常設相談員の配置と無料弁護士相談の実施

事業名	開設日	開設時間
常設相談	月～金曜日 (祝祭日除く)	午前9時 ～ 午後4時まで
無料弁護士相談	毎月第3火曜日	午後1時30分 ～ 午後4時30分まで

②相談件数

通常相談	137件(110件)
弁護士相談	61件(52件)
合計	198件(162件)

[]内は弁護士相談 (単位:件)

相談内容	件数	相談内容	件数
消費者金融	8 [7]	債権・債務	8 [6]
遺言相続	21 [18]	労働	2 [2]
離婚・その他家事	9 [9]	交通事故	1 [1]
不動産	10 [9]	消費者	0 [0]
損害賠償請求	4 [3]	その他	74 [6]
合計			137 [61]

(5) 障害児・者相談支援事業の推進

障がいのある人の生活に関する悩みや様々な課題等について相談に応じ、情報の提供や障害福祉サービスの利用支援、権利擁護のための必要な援助を行いました。

また、関係機関との連携を図り、地域住民に対して障がいの理解・啓発を行い、安心して暮らし続けられる地域づくりに努めました。

①相談員の配置（1名）

②相談実績

ア 実利用者数 82人（83人）

イ 相談延件数

○障がい別 (単位：件)

相談件数	身体	知的	精神	児童	※その他
852 (720)	217 (210)	107 (96)	331 (166)	117 (127)	80 (121)

※その他：難病、手帳の未所持者等

○相談方法別 (単位：件)

来所	訪問	電話	文書	※その他
41 (36)	169 (154)	358 (323)	0 (0)	284 (207)

※その他：個別支援会議、関係機関との連携等

③会議等の開催、参加

ア 個別支援ケース会議

実施日	随時 年31回（15回）
場所	門川町総合福祉センター、門川町役場、門川小学校、病院 自宅、福祉サービス事業所、他
参加者	関係機関 延177人（88人）
内容	生活困窮、不登校、権利擁護、サービス利用、就労、生活 育児等

イ 会議等への参加

会議名	参加回数（回）
日向・東臼杵郡障がい者自立支援協議会および部会	14 (22)
日向・門川・入郷地区 就労・生活支援担当者会議	- (2)
門川町地域活動支援センター運営会議	6 (6)
宮崎県障害者相談支援事業連絡協議会 (MSR)	15 (12)
子ども子育て会議	2 (-)
かどがわっ子部会	- (2)
生活困窮者支援会議・支援調整会議	2 (3)
つながりとの情報共有会議	6 (5)
その他	1 (3)
合計	46 (55)

④研修会の開催（障がいの理解・啓発に関する研修会の開催）

○1回目

実施日	令和7年3月13日（木）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	民生児童委員、障がい福祉関係事業所 他 44名
内容	安心して暮らせる地域を目指して・事業所紹介

○2回目

実施日	令和7年3月14日（金）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	地域住民、福祉関係機関、民生児童委員 他 37名
内容	成年後見制度について・市町村長申し立てについて

⑤研修会等の参加

開催日	研修名
令和6年 9月 3日（火）～4日（水） 10月11日（金） 11月 6日（水） 12月 2日（月） 12月20日（金）	相談支援従事者現任研修
令和6年11月 8日（金）	MSR県北ブロック秋の研修会
令和6年12月 5日（木）～6日（金）	九州地区障がい者相談支援事業 合同研修会（大分）
令和7年 1月17日（金）	MSR県央ブロック研修会
令和7年 1月31日（金）	災害ボランティアセンターに関する研修会
令和7年 2月25日（火）	MSR県北ブロック春の研修会
令和7年 3月 3日（月）	日向・東臼杵ブロック社協連絡 協議会職員研修会
令和7年 3月10日（月）	MSR県南ブロック研修会

⑥計画相談

障がい福祉サービスを利用される方の相談支援、サービス計画の作成を行いました。

報酬請求延件数 (単位：件)

計画件数	モニタリング件数
9 (15)	20 (40)

(6) 地域活動支援センター事業の実施

障がい者等を対象に生活訓練や創作活動を通して、日中過ごせる活動の場を提供しました。

(単位：日、人)

実施日数	実人員	延利用者数	一日平均利用者数
243 (243)	6 (5)	444 (542)	1.8 (2.2)

(7) 生きがづくり・介護予防事業の実施

①福祉バスの運行事業【再掲】

②高齢者スポーツ活動助成

グラウンドゴルフ、四半的協会が開催するスポーツ大会に助成を行いました。
2団体 30,000円（2団体 15,000円）

(8) 住民主体のボランティア活動の推進

①ボランティアセンター事業の推進

○ボランティア活動者

項目	人数	団体名
ボランティアセンター 把握者数	1,652 (1,873)	・門川町高齢者クラブ連合会 ・地区福祉推進委員会 ・子ども見守りネットワーク活動者 ・災害ボランティア関係活動者他
ボランティアセンター 登録者数	346 (443)	・門川町ボランティア連絡協議会会員 団体336人、個人10人

ア ボランティア活動に関する協議への参加

- ・福祉教育に関する検討会への参加（教育の絆推進懇話会）（年3回）
- ・学校運営協議会への参加（各学校1名）

会議名	回数
拡大学校運営協議会	3
門川小学校	2
草川小学校	3
五十鈴小学校	3
門川高等学校	3

イ 学生ボランティアの活動推進

- ・第29回福祉ふれあい祭りのボランティア活動（令和6年10月6日）

ウ ボランティア受給・調整・相談業務の充実

相談件数（件）	23（12）
活動件数（件）	21（10）
活動者数（人）	68（54）

（相談・派遣内容）手話通訳、福祉体験学習、門松作成等

エ ボランティア活動に関する情報提供の充実

- ・社協だよりの発行（第352号～第363号）【再掲】
配布先 町内全世帯、福祉施設関係機関 毎月6,200部作成
- ・町内掲示板、班回覧の活用【再掲】
- ・本会ホームページでの情報提供【再掲】

オ 行事等における託児ボランティア事業の推進

○実績数 3 件

(単位：人)

期日	学校名	行事名	利用 児童数	V o 数
令和 6 年 4 月 2 1 日 (日)	草川小学校	P T A 総会	1	3
令和 6 年 1 1 月 1 0 日 (日)	五十鈴小学校	門川町 P T A 研修大会	3	3
令和 7 年 1 月 2 4 日 (金)	門川小学校	入学説明会	5	6

②福祉教育の推進

ア 社会福祉普及推進校の指定

門川小学校、草川小学校、五十鈴小学校、門川中学校、門川高等学校 (全 5 校)

イ 福祉体験サポーター育成研修会の開催

研 修 会 名	1 日手話教室
実 施 日	令和 7 年 3 月 1 0 日 (月)
場 所	門川町総合福祉センター
内 容	聴覚障がいについて、手話通訳派遣事業、手話のあいさつ
参 加 者	一般参加者 7 名、手話受講生 7 名、手話サークル 1 2 名 聴覚障がい者 2 名、職員 1 名 合計 2 9 名

ウ 親子ボランティア体験事業の実施

実 施 日	令和 7 年 2 月 2 日 (日)
場 所	門川町総合福祉センター
参 加 者	参加者 8 世帯 2 0 名 (保護者 9 名、児童 1 1 名)
内 容	親子で防災に備える！～自分で出来ることを考えよう～ (A E D を使った救急法を学ぼう)

エ 活動費助成 (1 校につき年間上限 50, 000 円で助成 事業申請型)

助 成 額	200, 000 円
内 容	子ども見守りネットワーク事業、施設利用者との交流、募金活動 環境美化活動、福祉体験学習など

オ 拡大学校運営協議会、学校運営協議会の参加

- ・学校運営協議会への参加【再掲】

カ 福祉体験学習の職員派遣

実施日	令和7年2月5日(水)、2月12日(水)
場所	草川小学校
参加者	草川小学校3年生児童 42名
内容	2月5日(水) 車いす体験、アイマスク体験 2月12日(水) 手話体験、点字体験

実施日	令和7年3月13日(木)
場所	門川小学校5年生児童 55名
内容	手話体験

③子ども見守りネットワーク事業の推進

児童・生徒の安心・安全な地域づくりを目的として事業を行いました。

ア 子ども見守りネットワーク推進会議の開催

次年度に向け、推進会議のあり方について協議を行いました。

イ 子ども見守り活動の広報の充実

社協だよりによる広報を行いました。(年5回)

ウ 登下校時の見守り活動の実施

- ・見守り登録者への更新案内(令和6年5月)
- ・見守り登録者数 373人(380人)

登録団体名：門川町民生委員児童委員協議会、門川町高齢者クラブ連合会 門川町ボランティア連絡協議会、門川町婦人団体連絡協議会 町内小中学校、地区福祉推進委員会、いすず保育園、草川保育園 (株)西の丸、商工会他 門川小学校区(10団体、個人4名)、草川小学校区(11団体、個人2名) 五十鈴小学校区(13団体)、町内全域(8団体)
--

エ 青色回転灯装備車による巡回運行パトロールの実施

- ・入学、新学期時のパトロール実施
- ・町と連携し、夜間パトロールを週に1回
(午後5時30分から午後6時30分まで実施)

登録団体名：門川町役場、(株)西の丸、五十鈴小学校PTA、草川見守り隊 門川小学校PTA、門川町社会福祉協議会
--

④災害ボランティアに関する事業の推進

ア 災害ボランティア運営に関する研修会の参加

研修会名	災害ボランティアセンターに関する研修会
実施日	令和7年1月31日(金)
場所	門川町総合福祉センター
参加者	理事・評議員・職員 28名

イ 災害ボランティア推進協議会の開催
次年度に向けて推進会議のあり方について協議を行いました。

ウ 避難行動要支援者等に関する情報共有
・民生委員児童委員協議会との情報を共有しました。
・地区福祉推進委員会と要援護者情報を共有しました。

エ 災害ボランティアの啓発・広報
・社協だよりによる情報提供（令和6年9月号、令和7年3月号）

⑤住民参加型在宅福祉サービス「たんぽぽ会」
住民相互の支えあい・たすけあい活動を行いました。

ア 住民参加型在宅福祉サービス「たんぽぽ会」活動支援
・サービス提供状況 協力会員 5人（5人） 利用会員 34人（33人）

区分	実利用人数（人）	派遣回数（回）	派遣時間（時間）
家事援助	34（33）	434（516）	906.25（973）
身体介護	2（0）	3（0）	9.50（0）
育児支援	0（0）	0（0）	0（0）
合計	36（33）	437（516）	915.75（973）

イ 生活支援ボランティア養成研修の実施
門川町福祉推進大会の開催【再掲】

（9）関係機関・団体とのネットワーク形成

①福祉団体の育成支援事業の推進

ア 事務局業務

団体名	活動内容
門川町民生委員児童委員協議会	総会、監査（年1回） 正副会長会（5回）、運営委員会（5回） 定例会（12回）毎月第3木曜日
門川町高齢者クラブ連合会	総会（年1回）、理事会（年6回） 会長・女性部長合同会（年2回） 会長・女性部長・会計合同会（年2回） 監査（年1回） 高齢者クラブ大会、さわやか運動会 グラウンドゴルフ大会
門川町ボランティア連絡協議会	総会（年1回） 理事会（年6回）、会員研修会（年2回） 監査（年1回） クリーン作戦、団体情報交換会

イ 活動費助成

福祉団体、当事者団体等の育成および支援を目的に、活動費助成を行いました。

4団体 165,000円（4団体 143,000円）

団体名	事業内容	助成金額(円)
門川町高齢者クラブ連合会	単位クラブ活動支援	90,000
門川町ボランティア連絡協議会	会員研修会、情報誌発行	35,000
門川手話サークル	聴覚障がい者と手話講習生の交流活動	20,000
門川町更生保護女性会	児童の訪問活動	20,000

②関係機関との連携及び会議の開催

ア 福祉施設連絡会

地域包括支援センターにより個別事業所連絡会、障がい者相談支援事業所

イ 子ども見守りネットワーク推進会議【再掲】

ウ 災害ボランティア推進協議会【再掲】

エ 他市町村生活支援コーディネーターとの連携

生活支援コーディネーター交流研修会の参加【再掲】

オ 日向・東臼杵ブロック社協連協事業

令和6年度より2年間事務局

○理事会

実施日	令和6年4月17日（水）
場所	日向市総合福祉センター
出席者	職員2名
内容	令和5年度事業報告及び決算報告について 役員改選 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

○職員交流会

実施日	令和7年3月3日（月）
場所	門川町総合福祉センター
出席者	日向・東臼杵ブロック管内職員 28名 内本会職員 21名
内容	職員交流会 研修：「カスタマーハラスメントについて」 講師：法テラス延岡法律事務所 弁護士 前川 寛生 氏 分野別意見交換会

カ 日向・東臼杵郡自立支援協議会への参加（年3回）

キ 福祉施設合同事業の実施

ふれあい地球館で作成された鏡餅を希望する施設に配布しました。
（令和6年12月）

(10) 低所得者支援および日常生活支援

①生活困窮者自立相談支援事業【町受託事業】

ア 一次相談窓口業務に関すること

相談件数	103件〔来館49件、電話42件、訪問9件、その他8件〕
相談者	79人
相談内容	収入・生活費、債務・税金等の未納、住まい、就労等

イ 生活困窮者関係機関との連携

門川町生活困窮者支援会議、生活困窮者支援調整会議

実施日	令和6年7月23日(火)、令和7年2月28日(金)
場所	門川町役場
出席者	北部福祉こどもセンター、行政、福祉施設、医療関係、相談支援事業所、社協、包括等
内容	情報提供及び共有、個別ケースについて

②生活困窮者に関する支援事業

ア フードバンク事業

生活困窮者から相談を受け、必要な方に食糧の提供を行いました。

(単位：件、人)

相談件数	申請件数	決定件数	実利用人数
83 (53)	83 (52)	82 (52)	42 (29)

イ 広報啓発活動

フードバンクの紹介、寄贈のお願い

社協だより 令和6年12月、令和7年2月

ウ 要支援者宅清掃事業

対象世帯	件数 (件)
高齢者世帯	2 (0)
障がい者世帯	1 (0)
その他	0 (0)
合計	3 (0)

エ 法外援護事業

行路人や浮浪者など、法的に援助・支援されない者を対象に1回につき隣接市町村への交通費相当額500円を支給した。

令和6年度 2件 (0件)

③門川町成年後見事業【町受託事業】

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が低下した方に対し職員が法人を代理して、成年後見制度に基づき財産管理や身上監護を行い支援しました。

受任者	4名
定期支援	月1～2回 成年後見支援員（2名） ※突発的な事項等については専門員が対応
内容	年1回、裁判所への書類提出（3名） 定期的な支援（月1～2回） ケース会議への参加（随時）

ア 成年後見センターかどがわの運営

専門員配置 1名、法人後見支援員 2名

イ 成年後見センターかどがわ運営委員会及び監査の実施

○成年後見センターかどがわ運営委員会の開催

日時	1回目 令和6年 7月12日（金） 2回目 令和6年12月 6日（金） 3回目 令和7年 3月11日（金）
場所	門川町総合福祉センター 会議室
出席者	1回目 運営委員3名、事務局7名 2回目 運営委員4名、事務局7名 3回目 運営委員5名、事務局7名
内容	事業報告、要項等の改正について、受任について

○成年後見センターかどがわ 監査の実施

日時	1回目 令和6年 7月12日（金） 2回目 令和6年12月 6日（金） 3回目 令和7年 3月11日（火）
場所	門川町総合福祉センター 診察室
出席者	1回目 監事1名、事務局3名 2回目 監事2名、事務局2名 3回目 監事2名、事務局2名
内容	事業執行状況・支援内容の確認 監事より下記について助言 ・報酬申立の様式の変更について 次回、定期報告より様式を変更し申立てを行っている ・マイナンバーカードの取扱いについて 行政等に情報収集を行い、保管物件の取扱いについて規程を変更 ・運営委員会の開催頻度について 運営委員会で協議し令和7年度より年2回となる。

※監査内容を本会監事に書面にて報告した。

ウ 人材育成

法人後見支援員の育成及び専門員研修

期 日	令和6年6月19日（水）
場 所	門川町総合福祉センター（オンライン）
内 容	宮崎県社会福祉協議会主催 成年後見制度市町村職員等基礎研修 1名参加

期 日	令和6年12月13日（金）
場 所	宮崎家庭裁判所日向出張所
内 容	家事関係機関との連絡協議会 2名参加

期 日	令和6年12月16日（月）
場 所	宮崎県福祉総合センター
内 容	宮崎県社会福祉協議会主催 意思決定支援研修会 1名参加

期 日	令和7年1月20日（月）
場 所	門川町総合福祉センター（オンライン）
内 容	宮崎県社会福祉協議会主催 法人後見専門員育成研修、法人後見支援員（市民後見人） フォローアップ研修Ⅰ、法人後見人1名、後見支援員3名参加

エ 研修会

期 日	令和7年3月14日（金）
場 所	門川町総合福祉センター 会議室
参 加 者	37名（介護保険事業所、障がい支援事業所、民生委員児童委員）
内 容	「成年後見事業に関する研修会」 講師：延岡・西臼杵権利擁護センター 所長 河野 岳洋 氏 「市町村長申立てについて」 講師：門川町福祉課 地域福祉係長 片平 賢太郎 氏

オ 広報啓発活動

社協だよりで成年後見制度について紹介を行った。（令和6年12月号）

④資金貸付事業

ア たすけあい金庫貸付事業【本会自主事業】

○相談件数、貸付額

実相談件数	申請件数	決定件数	金 額(円)
24 (16)	4 (7)	4 (7)	200,000 (380,000)

○不能欠損処理

借入者死亡により不能欠損処理を行った。

不能欠損処理

項目	人数
本人死亡	1(3)
本人状況変化・生活保護になる	0(0)
本人所在不明	0(7)
その他	0(0)

イ 生活福祉資金【県社協受託事業】

低所得者・高齢者・障がい者の貸付対象世帯に対し、資金の貸付と必要な相談援助を行い、経済的自立および生活意欲の助長促進と社会参加を図り、安定した生活が送れるよう支援しました。

○相談件数、貸付額

実相談件数	相談延件数	申請件数	決定件数	金額(円)
18(19)	134(20)	6(2)	6(1)	2,779,000(1,907,000)

※令和6年度はシステム導入により相談延べ件数のカウントが可能となりました。

ウ 生活福祉資金特例貸付【県社協受託事業】

新型コロナウイルス感染症特例貸付の相談は令和4年度で終了しています。

令和6年度は借入者に対する償還免除・償還猶予申請の手続き支援と生活相談を行いました。生活状況調査のため調査項目及び対象について協議しました。

○特例貸付に係る貸付金償還猶予申請件数

(単位：件)

申請件数	決定件数
3(6)	3(6)

○生活相談

(単位：件)

相談件数	内訳	
	本人からの相談	社協からの相談
62(153)	25(57)	37(96)

エ 広報啓発活動

生活福祉資金に関する説明 民生委員児童委員 令和7年2月20日

生活福祉資金の案内 社協だより 令和7年1月号

⑤日常生活自立支援事業の実施【県社協受託事業】

認知症、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が不十分な方、生活に不安のある高齢者等が、地域において安心して自立した生活が送れるよう支援しました。

○専門員の配置 1人、生活支援員の配置 3人

○実利用者、契約者数 ※令和7年3月31日現在 (単位：人、回)

実利用者数	新規契約者数	契約解除数	延支援回数
26(25)	4(6)	3(1)	557(508)

⑥福祉用具貸出事業（日常生活支援）（単位：台）

福祉用具	通常貸出	短期貸出
電動ベッド	9 (13)	0 (0)
車椅子	13 (21)	29 (19)
その他	9 (5)	44 (28)
合計	31 (39)	73 (47)

(11) 子育て支援事業の推進

放課後児童対策事業（児童クラブ）【町受託事業】

※登録児童数は令和7年3月31日現在（単位：日、人）

校区名	実施場所	開館日数	登録児童数	延べ利用者数
門川小学校区	中央公民館	291 (293)	33 (35)	6,091 (6,399)
草川小学校区	総合福祉センター	201 (205)	9 (5)	1,656 (963)
合 計			42 (40)	7,747 (7,362)

(12) 障がい者福祉サービス

①コミュニケーション支援事業（手話通訳派遣事業）【町受託事業】

聴覚障がい者に手話通訳者を派遣できるよう職員を配置しています。

相談件数 (件)	派遣回数 (回)	利用者 (人)	派遣延人数 (人)
3 (9)	1 (2)	1 (2)	1 (6)

※相談件数の内2件は職員の手話通訳での対応（利用者1名）

②専門ボランティアの育成支援

○手話勉強会の支援

活動助成金の支給、勉強会の実施支援を行いました。

・助成額 60,000円（単位：回、人）

実施回数	47 (47)
延参加者	987 (528)

○点訳活動支援

定例会場貸出（社協だよりの点訳活動 原則として毎月第2水曜日）

③点字版「社協だよりの発行（協力 門川点訳サークル「点とうむし）」

配布先 町内視覚障がい者 1世帯2名 12回（2世帯 12回）

(13) 人材育成事業

九州医療科学大学の実習生を受け入れました。

期 間	令和7年2月17日(月)～2月27日(木) 8日間
実 習 生	九州医療科学大学 社会福祉学部 2年生 1名

2) 在宅福祉事業の推進

利用者が望む自宅等での生活が継続できるように、介護保険法および障害者総合支援法等の制度事業を実施し、機能維持、介護度改善、家族介護負担の軽減に努め、介護や予防支援を必要とする利用者の在宅生活を支援しました。

(1) 在宅福祉課の実施項目（共通事項）

- 制度改正の内容把握と対応、利用者および家族への説明
- ADL(日常生活動作)の維持向上を目指し、自立支援に視点を置いた計画書作成
- 職員間の情報共有や関係機関との連携等によるチームケアの推進
- BCP(事業継続計画)の研修および見直し

(2) 居宅介護支援事業の実施

①介護支援専門員による相談援助業務

要介護者等の依頼を受け、心身の状況や環境等、利用者および家族の希望を勘案し、相談援助、ケアプラン作成を行いました。また、各介護サービス事業所および関係機関との情報共有や調整など、連携したサービス利用の支援に努めました。

- ・介護支援専門員 3人 (4人)
- ・実利用人数 141人 (132人)
- ・居宅介護支援延件数 (単位：件)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
475 (429)	339 (423)	175 (177)	135 (134)	58 (8)	1,182 (1,171)

(3) デイサービス事業の実施

利用者の心身機能の維持や改善、社会的孤立感の解消、家族の介護負担軽減などを目的にデイサービス事業を実施しました。

また、新型コロナウイルスをはじめとする感染症等の予防対策は、職員および利用者やその家族にも徹底し、事業を休止することなくサービス提供を継続しました。

①通所介護事業 開所日数：258日

ア 介護保険事業

- ・利用状況 (単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実利用者数	27 (20)	20 (22)	11 (5)	4 (3)	0 (1)	62 (51)
延利用者数	2,215 (1,659)	1,725 (2,554)	906 (497)	263 (262)	0 (96)	5,109 (5,068)

イ 介護予防・日常生活支援総合事業(通所型サービス 開所日数：255日)

- ・利用状況 (単位：人)

	要支援1	要支援2	事業対象者	合計
実利用者数	7 (4)	18 (18)	13 (15)	38 (37)
延利用者数	215 (186)	1,144 (1,248)	761 (1,175)	2,120 (2,609)

②基準該当生活介護事業の実施

障がい者の社会参加や自立促進、生活の質の向上等を目的に実施しました。

・利用状況 (単位：日、人)

実施日数	実人員	延利用者数	1日平均利用者数
93 (95)	1 (1)	93 (95)	1 (1)

③事故・苦情等の状況

(単位：件)

区分	件数	内 容	今後の対応
ケア事故	6	<ul style="list-style-type: none"> 立ち上がり時にふらつき転倒 ドライヤーでおでこを打撲 座り損ねて椅子からずり落ちる 爪切り時に薄皮が剥がれる ぐらついていた下前歯の喪失 足マットに靴が掛かり膝折れ 	<ul style="list-style-type: none"> 十分な説明、目配り 自分の手に風をあてる 利用者状態の周知、全体的な目配り、声かけ 情報の周知、共有、 足マットをやめる
車輛事故	2	<ul style="list-style-type: none"> 路地進入時にブロック塀に接触 利用者宅退出時ブロック塀に接触 	<ul style="list-style-type: none"> 無理に侵入しない 周囲、環境の観察、確認

(4) ホームヘルプサービス事業の実施 開所日数：365日(366日)

利用者の自宅に訪問し、要支援・要介護の認定を受けた利用者が自宅での生活が継続できることを目的にホームヘルプサービス事業を実施しました。

また、新型コロナウイルスをはじめとする感染症等への予防対策を図り、体制を整えて業務にあたる等、出来る限りサービスの利用が継続できるように努めました。

①訪問介護事業

ア 介護保険事業

・実利用者数 19人(19人)

・利用状況 (単位：回、時間)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
延派遣回数	1,325 (683)	762 (785)	435 (528)	169 (4)	528 (566)	3,219 (2,566)
延派遣時間	1,279.50 (638.25)	692.50 (753.83)	233.50 (281.75)	89.50 (3.58)	264.00 (287.00)	2,559.00 (1,964.41)

イ 介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型サービス)

・実利用者数 20人(19人)

・利用状況 (単位：回、時間)

	要支援1	要支援2	事業対象者	合計
延派遣回数	66 (131)	558 (552)	346 (359)	970 (1,042)
延派遣時間	66.00 (128.08)	527.75 (546.33)	345.00 (355.50)	938.75 (1,029.91)

②障害者総合支援法のホームヘルプサービス

(居宅介護、重度訪問介護、同行援護、移動支援)

障がい者に対しホームヘルパーを派遣し、在宅での生活を支援しました。

・居宅介護（宮崎県指定事業） (単位：人、回、時間)

実利用者人員	延派遣回数	延派遣時間
5 (7)	337 (591)	354.58 (554.25)

・重度訪問介護（宮崎県指定事業） (単位：人、回、時間)

実利用者人員	延派遣回数	延派遣時間
1 (1)	926 (155)	925.5 (150.67)

・同行援護（宮崎県指定事業）対象：視覚障がい者 (単位：人、回、時間)

実利用人員	延派遣回数	延派遣時間
2 (4)	26 (23)	68.33 (45.83)

・移動支援（門川町指定事業）

対象：外出支援を必要とする障がい者

(単位：人、回、時間)

実利用人員	延派遣回数	延派遣時間
1 (2)	25 (37)	52.0 (69.33)

※1名は身体障がい者

③事故・苦情等の状況

区分	件数	内 容	今後の対応
ケア事故	2件	・カテーテルのねじれによる尿閉 ・トイレへ行く際に転倒	・目視確認を徹底 ・見守りの対応を追加
その他	1件	・ヘルパーのコロナ感染	・何らかの症状がある時は自己判断せず報告

(5) 実習の受入

(単位：人、日)

事業名	実人数	実日数	実習生
居宅介護支援事業所	1 (2)	4 (3)	介護支援専門員実務研修
通所介護事業 (介護予防)	2 (3) 2 (0)	2 (2) 10 (0)	土々呂中学校 2年生 門川高等学校 2年生
訪問介護事業 (介護予防)	—	—	

3) 地域包括支援センター事業推進

地域住民が抱える悩みや生活課題に対して包括的に支援する「総合相談窓口」として、地区福祉推進員や民生委員児童委員など地域の関係者や保健・医療・福祉の関係機関や行政と連携を図り、地域住民の生活課題解決に向けて介護予防、相談事業を実施しました。高齢化の進展に伴い、相談件数は年々増加傾向で業務量の増加が課題となっています。

(1) 一般介護予防事業

①介護予防教室

実施地区	6地区 (6地区)
場所	各地区公民館
参加者	58人 (75人)
内容	認知症、栄養(講話)、百歳体操実践、減塩(調理実習) 介護保険制度(住宅改修等)について

介護予防教室(栄養教室)

実施地区	37地区 (35地区)
場所	各地区公民館
参加者	308人 (322人)
内容	栄養に関すること(講話、塩分測定など)

②介護予防チャレンジ教室

上町・加草1区地区住民を対象に実施

(単位:人、回)

参加者	回数	内容
21人 延べ 76人 (28人 延べ 116人)	12 (18)	介護予防の講話、百歳体操 レクリエーション等

③いきいき百歳体操

(単位:会場、人)

実施地区	41会場/39地区 (39会場/38地区)
場所	各地区の公民館等
参加者数	延べ1,854人 (1,604人)

④体力測定

(単位:会場、人)

実施地区	40 (36)
参加者数	333 (333) [内訳] 男 54 女 279 (男 63 女 270)

⑤いきいきサロン活動支援（フォローアップ）

実施地区	7会場／7地区（6会場／6地区）
場所	各地区公民館
参加者	86人（82人）
内容	百歳体操指導、卓球バレー、卓球バレーフォローアップレクリエーション等

⑥ノルディックウォーク

（単位：会場、回、人）

	会場	回数	参加者数 (延)
サークルフォローアップ	6 (4)	10 (10)	50 (41)
出前教室	1 (1)	1 (5)	8 (26)
固定教室	1 (1)	4 (5)	29 (45)
体験教室	3 (2)	8 (4)	73 (41)
新規者向け体験交流会	1 (1)	1 (1)	11 (15)
サークル向け交流会	1 (1)	1 (2)	13 (12)

⑦スクエアステップ

（単位：人、回、時間）

	会場	回数	参加者数
実施会場フォローアップ	1 (1)	2 (1)	16 (7)
介護予防チャレンジ教室	1 (1)	1 (1)	4 (6)

⑧パワーリハビリ教室（令和6年4月～9月まで）利用実人数

（単位：人）

	期間 回数	二次予防 対象者	要支援 認定者	一般 高齢者	障がい	合計
フォローアップ (午前) 2クール	6ヶ月 週1回	6 (14)	0 (1)	3 (7)	0 (0)	9 (22)
地域開放型 (午後)	—	27 (27)	1 (1)	17 (29)	— —	45 (57)

*フォローアップ令和7年1月末で終了 *サポーター数2人(2)

短期集中通所型予防サービス 利用実人数【新規】

（単位：人）

	期間 回数	二次予防 対象者	要支援認定者 (事業対象者含)	合計
通常コース (午前) 4クール	3ヶ月 週2回	9 (6)	13 (4)	22(10)
通常コース (午後) 4クール	3ヶ月 週2回	4 (0)	2 (0)	6(0)

⑨介護予防事業サポーター交流会

実施日	令和6年7月17日(水)
場所	門川町総合福祉センター 会議室
参加者	38人
内容	講話：「悪質商法から高齢者を守る」 講師：宮崎県消費生活センター延岡支所 消費生活啓発員 松本 哲也 氏

⑩介護予防大交流会

実施日	令和6年11月27日(水)
場所	クリエイティブセンター門川
参加者	210人
内容	表彰 (下記掲載) フレイル予防について (栄養、口腔、運動・社会参加)

(単位：地区、人)

受賞者数内訳	地区	人数
ご長寿賞	2 (2)	2 (2)
がんばったで賞 (百歳体操)	40 (31)	40 (33)
がんばったで賞 (ノルディックウォーク)	1 (0)	1 (0)
感謝状 (パワーリハビリ)	1 (1)	1 (1)
感謝状 (ノルディックウォーク)	1 (1)	1 (1)

⑪介護予防サポーター育成講座

実施回数	5回 [8月～9月] (5回)
場所	門川町総合福祉センター
参加者	14人 延べ49人 (16人 延べ65人)
内容	介護予防活動の担い手に必要な知識の講義と演習 必須講座を修了した7人のサポーターへ認定証を授与

⑫自炊力向上チャレンジ教室

実施回数	4回 (4回)
場所	個人宅
参加者	3人 延べ11人 (12人 延べ30人)
内容	自宅訪問し個別でアセスメント、個別指導

(2) 認知症施策支援事業

①認知症サポーター養成講座の開催

認知症の人やその家族を地域で支えていくために、病気や症状について正しく学び、接し方や心構え等、理解できるように努めました。(単位:人)

実施日	場所	参加者	
令和6年 4月7日(日)	南町一区公民館	南町一区地区住民	18
9月20日(金)	門川町総合福祉センター	サポーター育成講座	8
9月26日(木)	加草4区公民館	加草4区地区住民	14
10月11日(金)	小松公民館	小松地区住民	12
10月28日(月)	中山公民館	中山地区住民	24
10月29日(火)	城ヶ丘集会場	城ヶ丘地区住民	11
11月12日(火)	梅ノ木集会場	梅ノ木地区住民	15
12月13日(金)	上納屋公民館	上納屋地区住民	14
12月15日(日)	庵川西公民館	庵川西、須賀崎地区住民	12
令和7年 1月25日(土)	松瀬地区集会場	松瀬地区住民	11
2月10日(月)	門川高等学校	福祉課1年生	19
3月7日(金)	五十鈴公民館	五十鈴地区住民	7
3月18日(火)	南ヶ丘公民館	南ヶ丘地区住民	6

○認知症講座

(単位:人)

実施日	場所	参加者	
令和6年 7月12日(金)	JAみやざき門川支店	JAみやざき門川支店女性部おもと会	5
令和7年 2月14日(金)	竹名地区公民館	竹名地区住民	14
2月21日(金)	小松公民館	小松地区住民	11
3月10日(月)	加草1区公民館	加草1区地区住民	3

○出前オレンジカフェ

(単位:人)

実施日	場所	参加者	
令和6年 9月4日(水)	東栄町公民館	東栄町地区住民	12
11月13日(水)	東栄町公民館	東栄町、宮ヶ原、西栄町	10
令和7年 2月19日(水)	宮ヶ原公民館	宮ヶ原地区住民	32

○出前オレンジカフェ広報

(単位:人)

実施日	場所	参加者	
令和6年 6月27日(木)	南町一区公民館	南町区長	2
7月2日(火)	庵川東公民館	庵川東区長	1

②認知症ひとり歩き模擬訓練

○広報啓発：「ひとり歩き模擬訓練」

「見守りシール」活用して、対象者を発見してから家族への連絡までの模擬訓練を実施。

実施日	令和7年1月19日（日）
場所	庵川西公民館
参加者	60人
内容	概要説明、捜索・声かけ・通報連絡、意見交換、まとめ

※見守りシール…認知症等により行方不明となるリスクのある対象者の持ち物や衣服に貼ることで早期発見につながるアイテム。

○認知症による行方不明啓発

実施日	令和6年6月1日（土）～6月27日（木）
場所	公民館（24地区）、オレンジカフェ（2）
対象者	百歳体操参加者、オレンジカフェ参加者等
内容	認知症による行方不明啓発チラシ配布

③会議・研修への参加

（単位：回）

会議・研修名	回数
認知症地域支援推進会議	3（3）
チームオレンジ会議	6（-）
チームオレンジコーディネーター研修	1（-）
キャラバン・メイト研修	1（-）
認知症地域支援推進員研修	1（-）
認知症ケアに携わる多職種協働のための研修	1（-）
認知症フォーラム	1（-）

④認知症初期集中支援事業

（単位：人、回）

認知症初期集中支援チームとの連携	内訳
初期相談対応人数	5（5）
訪問回数	1（14）
初期集中支援チームへの紹介人数	1（5）
会議参加回数	12（12）

(3) 包括的支援事業

①高齢者等相談支援

○相談者延件数

単位：(人)

来所	訪問	電話	書面	その他	合計
451 (295)	638 (447)	3,180 (2,807)	257 (190)	160 (74)	4,686 (3,813)

○相談者内訳延件数

単位：(人)

本人	2,372 (1,853)	ケアマネ	130 (114)	医療関係	646 (539)
家族(同居)	548 (439)	役場	216 (84)	北部福祉 こどもセンター	2 (9)
家族(別居)	432 (525)	事業所	153 (100)	その他	56 (46)
近隣者	71 (27)	民生委員	60 (77)	合計	4,686 (3,813)

○相談内容別延件数

単位：(人)

身体に関すること	2,812 (2,248)	権利擁護に関すること	45 (2)
認知症に関すること	649 (574)	実態把握訪問	149 (72)
疾病に関すること	179 (116)	障がいに関すること	56 (39)
高齢者虐待に関すること	30 (45)	その他	543 (472)
新規相談	223 (245)	合計	4,686 (3,813)

②地域におけるネットワークとの連携及び支援

- ・地区福祉推進委員会

実施日	令和6年4月7日(日)		
場所	南町1区公民館		
内容	認知症サポーター養成講座		
参加者	南町1区地区福祉推進委員		14名参加

③高齢者支援に関する情報発信(介護予防事業、高齢者の食事、認知症関連)

- ・おとじま通信(社協だより)の発行(毎月)
- ・ホームページの更新(随時)

④関係機関との連携

ア 各種関係機関会議の参加

会 議 名	地域密着型サービス運営推進会議
実 施 日	令和6年 5月12日(日)、5月31日(金) 6月18日(火)、9月 8日(日) 11月10日(日)
場 所 (場所つづき)	町内地域密着型サービス介護サービス事業所 会議室 ・グループホームなごみ ・グループホームゆりかもめ ・有料老人ホーム絆 ・デイサービスさくらんぼ ・看護多機能ホームこぼる
参 加 者	利用者家族、民生委員、地区住民等
内 容	利用者の状態や活動状況についての報告 入退去の状況 ・事故報告 ・家族や地域住民等と意見交換

会 議 名	門川町地域包括ケア会議
実 施 日	令和6年9月18日(水) 令和7年1月22日(水)、3月19日(水)
場 所	門川町役場会議室
参 加 者	行政、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、管理栄養士 介護支援専門員 等
内 容	個々の日常生活における課題を共有し専門職からの助言や 社会資源の検討、地域課題へ置き換えに必要な社会資源の検討

会 議 名	門川町国民健康保険運営会議
実 施 日	令和6年5月23日(木)、8月27日(火) 令和7年2月27日(火)
場 所	門川町役場会議室
委 員	民生委員、町議会議員、医師、歯科医師、薬剤師、 地区会長等 14名
内 容	国民健康保険税について 国民健康保険事業の取組みについて 国民健康保険事業の運営について

会 議 名	多機関連携会議
実 施 日	令和6年 5月30日(木) 7月25日(木) 9月13日(金) 11月25日(月) 令和7年 1月17日(金) 3月19日(水)
場 所	門川町総合福祉センター
参 加 者	NPO 法人つながり、福祉課、社協(地域福祉課)、包括
内 容	個別ケースの情報共有と協議

イ 介護支援専門員連絡会の開催

実 施 回 数	令和6年 5月14日(火) 7月 9日(火) 9月17日(火) 11月14日(木) 令和7年 1月14日(火) 3月11日(火) 計：6回(4回)
場 所	門川町総合福祉センター
参 加 者	介護支援専門員 11事業所 延べ135人(延べ 82人)
内 容	事例検討、意見交換会、福祉用具の研修 等

ウ 事業所連絡会(訪問介護・通所介護)の開催【新規】

行政・社協・民間事業所が連携し、介護サービス事業所の人材不足や経営等の課題を把握するとともに、介護保険制度の共通理解を深め持続性のあるサービス提供体制づくりに取り組みました。

○訪問介護事業所連絡会の開催

実 施 日	令和6年 7月19日(金)
場 所	門川町総合福祉センター
参 加 者	訪問介護事業所 6事業所 8人
内 容	現在の事業所の抱える課題と経営について(情報共有)等

○通所介護事業所連絡会の開催

実 施 日	令和6年11月18日(月)
場 所	門川町総合福祉センター
参 加 者	通所介護事業所 8事業所 11名
内 容	現在の事業所の抱える課題と経営について(情報共有)等

⑤権利擁護業務

(単位：回)

ケース会議	10 (9)
	議 題：退院後の支援について 等
在宅高齢者等宅清掃活動【再掲】	3 (1)
	対象者：障がい者世帯

(4) 介護保険事業

要支援1、2、総合事業対象者に対してサービス計画を作成し、自立に向けた支援を行いました。

○介護報酬請求件数

(単位：件)

	介護報酬 請求延件数	内新規	自立実件数
介護予防支援	1,786 (1,734)	49 (64)	10 (8)
介護予防ケアマネジメント	526 (595)	27 (29)	3 (5)
合計	2,312 (2,329)	76 (93)	13(13)

○特定福祉用具購入、住宅改修のみの利用者対応

(単位：人)

	要支援1	要支援2	要介護	合計
特定福祉用具購入のみ	0 (3)	0 (3)	0 (1)	0 (7)
住宅改修のみ	7 (8)	5 (10)	2 (5)	14 (23)
福祉用具購入と住宅改修	3 (4)	2 (3)	7 (2)	12 (9)
合計	10 (15)	7 (16)	9 (8)	26 (39)

4) 法人経営体制の充実

(1) 役員会、評議員会の充実、職員の資質向上

①役員会、評議員会の開催

・理事会 2回

実施日	令和6年6月10日(月)
出席者	理事5名(欠席1名)、監事2名、職員10名
主な議題	<ul style="list-style-type: none">・令和6年度収支補正予算について・令和5年度事業報告及び収支決算書について・定時評議員会の招集事項について

実施日	令和7年3月17日(月)
出席者	理事6名、監事2名、職員10名
主な議題	<ul style="list-style-type: none">・就業規則の一部改正について・給与規程の一部改正について・事務局規程の一部改正について・福祉推進委員規則の一部改正について・令和6年度収支補正予算について・令和7年度事業計画及び収支予算について・評議員会の招集事項について

・評議員会 2回

実施日	令和6年6月26日(水)
出席者	評議員5名(欠席2名)、役員(会長1名、監事2名)、職員9名
主な議題	<ul style="list-style-type: none">・理事の補欠選任について・令和6年度収支補正予算について・令和5年度事業報告及び収支決算書について

実施日	令和7年3月28日(金)
出席者	評議員6名(欠席1名)、会長1名、職員10名
主な議題	<ul style="list-style-type: none">・令和6年度収支補正予算について・令和7年度事業計画及び収支予算書について

②監査・調査の実施

期日	監査名・実施者	監査内容
令和6年 5月16日(木) 17日(金)	外部監査 (木山会計事務所)	令和5年度決算監査
令和6年 5月29日(水)	社協監査(社協監事)	令和5年度事業、 決算監査
令和6年 9月 5日(木)	社会福祉法人指導監査 (県指導監査・援護課)	法人運営全般 令和5年度決算監査
令和6年10月 9日(水)	日常生活自立支援事業 オンライン調査 (県運営適正化委員会)	日常生活自立支援事業
令和6年10月15日(火)	補助団体等に関する監査 (町監査委員)	令和5年度事業、 決算監査
令和6年11月14日(木) 15日(金)	外部監査 (木山会計事務所)	令和6年度 中間監査

③職員研修、職員派遣

区分	回数	人数	主な内容
外部研修	68(73)	95(33)	県社協等主催研修会、 高齢者虐待研修等
内部研修	50(30)	416(216)	職員全体研修(災害マニュアル等) 職員各課・係研修会等
職員派遣 (会議)	120(185)	137(203)	地域ケア会議、介護認定審査会等
職員派遣 (講師等)	11(5)	21(6)	認知症サポーター養成講座等

(2) ICT化推進の検討

ICT・AIプロジェクトチーム

令和6年4月1日より4名の職員が委嘱を受け、ICTやAIに関するアンケート調査や検討を行いました。今後も継続して見守りシステムや事務の効率化に向けて検討を行っていきます。

①会議の開催

期日	内容
令和6年 4月 5日(金)	事業説明
令和6年 4月16日(火)	ICT・AIに関する勉強会、 今後のスケジュールについて
令和6年 4月30日(火)	アンケート結果報告、協議 4月中に全職員にアンケート調査を実施し集計 結果に基づき協議を行う。

期日 (つづき)	内容
令和6年 5月 7日 (火)	アンケート結果をもとに協議
令和6年 8月13日 (火)	事務作業の効率化について
令和6年 9月11日 (水)	事務作業の効率化、災害時のデータ保全について
令和6年11月19日 (火)	見守りサービス、機器のトライアルについて
令和7年 3月 4日 (火)	見守りサービス、機器のトライアルについて 今年度のまとめ

②研修会への参加

期日/場所	内容・参加数
令和6年 5月21日 (火) RICH0 宮崎	RICH0 ひなたプレゼンテーション 事務機器のデモ、企業からの説明 参加：3名
令和6年 8月22日 (木) オンライン	福祉・介護分野における情報における情報連携 ツールに関する勉強会、見守りシステム等について 参加：2名
令和6年11月12日 (火) 野口遵記念館	RICH0 ひなたプレゼンテーション 事務機器のデモ、企業からの説明 参加：2名
令和6年11月25日 (月) オンライン	Kintone 勉強会、システム説明 参加：2名

③事務機器の説明及びトライアル

- ・令和7年1月15日 (水) Onboard (ペーパーレス) について機器説明
- ・令和7年3月10日 (月) ~ 28日 (金)
音声議事録作成 Toruno トライアル

(3) 自主財源の確保

①会費

種 別	件 数 (件)	金 額 (円)
一 般 会 費	5,036 (5,063)	1,812,960 (1,822,680)
賛 助 会 費	575 (572)	1,162,000 (1,194,000)
合 計	5,611 (5,635)	2,974,960 (3,016,680)

②寄付

種 別	件 数 (件)	金 額 (円)
香 典 返 し	120 (109)	3,633,000 (3,735,000)
一 般 寄 付	6 (7)	112,753 (231,532)
合 計	126 (116)	3,745,753 (3,966,532)

(4) 赤い羽根共同募金運動の展開

①宮崎県共同募金会門川町共同募金委員会事務局業務

ア 運営委員 12名

イ 監査の実施

実施日	令和6年6月3日(月)
場所	門川町総合福祉センター 診察室
出席者	監事 2名、事務局 3名
内容	令和5年度事業報告、決算監査

ウ 共同募金運営委員会の開催

○1回目

実施日	令和6年6月28日(金)
場所	門川町総合福祉センター 会議室
出席者	委員 11名、事務局 3名
内容	令和5年度事業報告、決算について 令和6年度事業計画、予算について

○2回目

実施日	令和6年9月30日(月)
場所	門川町総合福祉センター 会議室
出席者	委員12名 事務局 4名
内容	令和6年度共同募金活動事業計画について

エ 「赤い羽根共同募金だより」の発行(令和7年3月)

配布先 町内全世帯、町内事業所等(6,000部作成)

オ カプセル玩具販売機「ガチャガチャ」募金活動

カ 「赤い羽根共同募金運動」支援自動販売機設置

設置場所 かどがわ温泉心の杜

②募金実績

共同募金運動の推進（令和6年10月1日～12月31日）

募金総額 4,146,414円（4,381,513円）

[募金目標額 3,804,000円 達成率 109.0%]

募金種別	金額（円）
戸別募金	2,933,600（2,994,400）
大口・法人募金	1,021,600（1,053,300）
職域募金	43,150（41,250）
地域募金	51,624（75,011）
学校募金	28,671（79,568）
街頭募金	31,147（46,971）
その他	36,622（91,013）

（5）財務管理

- ・予算、決算状況を社協だより及びホームページにおいて公開しました。
- ・全職員が会計システムを閲覧できるようにし、財務管理の意識を高めました。

（6）情報公開制度の推進

- ・「社協だより」の発行【再掲】
- ・ホームページによる情報提供【再掲】

（7）情報提供の推進

- ・社協だよりの発行（第352号～第363号）【再掲】
- ・町内掲示板、班回覧の活用
- ・ホームページによる情報提供【再掲】

（8）情報管理の検討

自然災害やサイバー攻撃等でデータの消滅や流出に備えるための情報管理について検討し、令和7年4月1日から導入できるよう取り組みました。

（9）苦情解決への取り組み

本会の福祉サービスを適切に利用できるよう支援するために、苦情解決委員を選任しています。

(10) 施設管理【町受託事業】

門川町より指定管理者の指定を受け総合福祉センターの適正かつ円滑な管理に努めました。(指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日)

- ・開館日数 268日
- ・年間利用者数 17,449人(18,087人)
(内有料貸出 0回)

(11) 災害対策

①巨大地震・津波対策マニュアルの作成(令和6年9月)

令和6年8月8日に発生した日向灘沖地震の発生を受けマニュアルの作成を行いました。

②災害訓練

ア 巨大地震・津波避難訓練

巨大地震・津波対策マニュアルに基づき、サービス利用者及び職員が福祉センターから心の杜第2駐車場まで避難する訓練を実施しました。

令和6年10月24日(木) 職員及びサービス利用者

イ 消防総合訓練

令和7年3月26日(水) 職員及びサービス利用者

(12) 労務管理

- ①「労働基準法」「労働安全衛生法」等に基づき、社会保険労務士の指導のもと、適正な労務管理に努めました。
- ②労働基準法の改正により、働き方改革に伴い職員の処遇改善を図りました。
- ③宮崎県の「仕事と家庭の両立応援宣言」に基づき、職員が働きやすい職場づくりを目指しました。
- ④労働安全衛生法に基づき、職員の心身の健康保持のため、健康診断及びストレスチェックを産業医の指導のもと行いました。

(13) 災害支援の取り組み

令和6年能登半島地震義援金活動に取り組みました。